

日銀の視点

先月の台風と大雨による災害で落命された方のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。本県を直撃した台風19号は那珂川や久慈川の流域各所に甚大な被害をもたらした。被災地では復興に向けた懸命な取り組みが行われているが、筆者も微力ながら災害ボランティア活動に参加した。

ある朝、県が用意してくれたバスで一路県北へ向かった。

日本銀行 吉田 豊
 水戸事務所長

台風災害と県内の景気

た。山間部に差し掛かるとバスは川と並行して走る。既に川の水位は下がっていたが、えぐられた川岸や流木に覆われた河原など、至る所に氾濫の爪痕が残っていた。現地に到着しボランティアセンター

された泥の量と重さは想像を超えていた。泥だらけの家財もご家族にすれば使い慣れ愛着や思い出のあるものに違いないが、ご主人にこれどうしますか、と伺うと「捨てるしかないね」。大切な品々が

を受けていた。今回の台風で被災した地域では、広い範囲で工場や店舗が浸水被害に遭ったほか、仕入れ先が被災したために部品が調達できなくなり操業を休止した工場もある。県内に自粛ムードが広がれば個人消費の

先ほどのお宅のご主人は当地に住んで70年になるが、これまでひどい被害はこれまでにはなかったという。住み慣れた自宅でありながら「もうこんな所には住みたくない」というご主人のつぶやきが重く響いた。被災した方々には、一日も早く穏やかに過ごせる日常を取り戻してほしい。そのためにもできることは何だろうか。どんな形であれさやうかであったとしても被災地

で受け付けを済ませると、川べりに立つお宅に派遣された。被災当日は大人の肩の高さまで浸水したという。7人のチームで家財の搬出と部屋の泥出し、床の拭き掃除に取り組んだ。水が引いた後に残

災害ごみとなっていくのが切ない。今回の台風被害は本県経済にも暗い影を落としかねない。本県ではこれまで米中貿易摩擦の影響と海外経済の減速から、輸出や生産が影響

について、当事務所がきのう公表した茨城県金融経済概況では台風の影響や消費税増税後の状況なども慎重に加味して判断した。詳しくは本日付の本紙経済面の記事をご覧ください。

か、と思っている。

(第2土曜日掲載)